

会議名 令和2年度第1回広報広聴検討会議

開催日	令和2年10月30日(木)	会議時間	開会 PM 6:30 閉会 PM 8:20
会議場所	役場 第2会議室	記録者	企画環境課広聴広聴係 嘱託職員 四條 楓弥
出席者	委員：井上剛委員(座長)、野口将輝委員、 沼尻賢治委員、小坂みゆき委員、倉地輝美委員 町：企画環境課長、広報広聴係		

会議日程

- (1) 広報ニセコについて
- (2) 広報広聴全般について
- (3) その他

会議内容

<p>■議事(井上座長による進行)</p> <p>【広報ニセコについて、活動全般について】</p> <p>大野係長より広報誌、活動、防災ラジオの更新についての報告</p> <p>(防災ラジオ更新)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオは使いやすいものが多い。AM、FMで聞ける局が増えるのはいい。 ・自分もそうだが、防災ラジオをもらっても箱から出さない人もいる。2年前のブラックアウトの時に初めて箱から出して使おうとしたが、充電機の残量が空になっており、停電で充電もできず結局使えなかった。 ・防災ラジオを使ったことはなかったが、ブラックアウトをきっかけに使い始めると、ラジオの良さ・便利さに気づいた。防災ラジオのデザインは、すっきりしているより「守られている」感じがするのがいい。 ・配布方法はどうするのか ・(山本課長)ラジオの配布方法は「町民に取りに来ていただく」か「町内業者を通じて配布する」かを考えている。 ・配布についてはフェーズを分けて行ってはどうか。まずは町民にラジオを取りに来てもらい、受け取っていない人には業者を通じて配布してはどうか。 ・国勢調査のように町民からボランティアを募って「設置1件につき〇円」として依頼してはどうか。 ・配布時に防災ラジオの重要性を伝えることで、ラジオの使用率が上がるのではないか。 ・広報で防災ラジオの特集を組むのもいい。 <p>(広報ニセコ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容がむずかしいものとカジュアルなものがあり、2020年3月号「総合計画アンケート

結果」は、とても難しい内容だった。いかに簡単に平易な文章にできるか書き手の能力が問われる。

- ・ 2020年10月号「国際交流」はカジュアルでわかりやすかった。
- ・ 課題提示型の内容は難しくなりやすいが、2020年5月号の特集（防災、自主防災組織）は、関係者のインタビューなどがあり、難しい内容がわかりやすくまとめられていた。
- ・ （大野係長）4月号「今年度の行政執行方針」は、内容が難しく文字だらけになってしまい、全16pに及ぶ。要点だけ書きだし、「全文はWEBで」でもよいか。
- ・ 何か月かに分けて掲載するのはどうだろうか。
- ・ 要点だけ書きだすとなると、書き手の判断が入ってしまい、意味合いが変わってくる恐れがある。
- ・ 以前から毎年4月号は行政執行方針なので、資料的価値がある。町長や教育長の考えを知ることができるのでなくさないほうがいい。
- ・ 最初のページに分野ごとの目次や解説をつけて、興味を持ったところだけでも見てもらえればいい。

（LINEについて）

- ・ LINEはほかのSNSや広報とはどうすみわけしているのか。
- ・ （四條）月2回、イベントの案内を中心に発信している。
- ・ LINEは、10月号広報に案内があるが、1回案内しただけでは伝わらない。何回も発信したほうがいい。

（広報広聴全般について）

- ・ 最近のまちづくり町民講座は、有識者が来るようなテーマが多い。そういったものも大事だが、町民が集まり話し合うようなテーマもやるべきではないか。
- ・ まちづくり懇談会は、さまざまな住民グループがあるのでそういうグループにも届けられるといい。
- ・ 子育て世代対象の懇談会の場所は、町民センターではなく、「おひさま」のほうが集まりやすいのではないか。
- ・ 「私の意見」は、意見のうちどのくらいにフィードバックしたのかを知りたい。
- ・ 「まちづくりトーク」は、主催者が希望すれば町からも広報してはどうか。
- ・ （山本）「まちづくりトーク」は、もともとクローズドな集まりとして始まった。主催者が広報するのは構わないが、町が広報するのは違うのではないか。

【次回】

- ・ 2月ごろ、予算説明書の内容を主な議題として開催予定。